

長岡税務署長賞

税金制度について思うこと

長岡市立中之島中学校

三年 田中 玲

税金と言うと「大人」のイメージがありますが、SNSなどを見ると私たちの世代の人もかざらない言葉で意見しています。

例えばマスクの配布についてSNS上にさまざまな意見があることにおどろかされました。どちらかというと批判的な意見が多いですが、コロナ禍によるストレスも原因で、より神経質になっているのかもしれない。

当時はマスクは品薄で店頭に並んでいる数もほとんどなく、朝から行列に並ばないと入手できない状況でした。コロナ感染防止のため外出もままならない人にとってはポストに届くマスクはとても嬉しくて、少しの安心に繋がったことには違いありません。市販のマスクは値段も高く、サイズが大きすぎるので、小さすぎると言う声もあるマスクは私にとってはすごく助かりました。

税金に助けられているなと思うことは他にもあります。

税金の使い道の三十四・九パーセントを占める社会保障費にあたる医療費の補助です。私は怪我をすることが多いですが、病院の窓口で支払うお金はわずかです。赤ちゃん等の病気をしやすい時期にとっても助けられたと聞きました。人が人を支えて

いるのだと改めて感じました。

恵まれた時代に生まれた私たちと、戦後の物資の不足した厳しい環境を生き抜いてきた方々と同じ保障をしてもらえません。制度の改革が行われるニュースをみると、戦後の復興に力を注いできた方々たちにとって安心して暮らせる社会になってほしいと考えます。

理想を言うのは簡単ですが、少子高齢化が進むのがわかっているのでから税金に頼らないことも考えないといけません。自分ができること、まずは自分の食生活を見直し、医者にかからない努力をして少しでも高齢者のかたにお金がまわるようにします。

最近自然災害が多いことも気になるところです。突然家を失ったらどんな助けがあるのか調べて見ました。所得税の雑損控除と、災害減免の二つがあるそうです。個人の財産には何も保障してもらえないかと思っていたけれど安心しました。災害が起きたあとだけでなく、起こさないための整備や工事に税金が使われることも知りました。

また、ふるさと納税という制度も良いと思いました。地域の発展に貢献することや、台風や大雨で被害にあった市町村を応援することができそうです。二千円を超えた寄付金は税額控除されるか翌年の住民税から控除されます。実家にいる両親を定期的に訪ねてもらえる見守りサービスは将来私も使ってみたいです。

いま、私たちはたくさんの方々が一所懸命に働いたお金で勉強したり生活することができています。その感謝の気持ちを忘れてはいけません。自分も将来は納税者になります。まわりまわって自分に返ってくるお金です。その時がきたら誇らしい気持ちになれると思います。